

神奈川県キャンプ協会 (PACK)

Prefectural Association of Camping, Kanagawa



No.11

from : North

East

West

South

平成26年 7月15日発行

今、改めて“野外活動の役割の機能化”を問う！

～野外での「余暇活動から教育活動まで」を俯瞰して～

神奈川県キャンプ協会 (PACK)

理事長 鈴木 秀 雄

(関東学院大学教授、Ph. D.)

野外活動 (Outdoor Activity) とは、自然の中で「非日常の状態」であっても、野外での知識と技能を駆使して、むしろ「日常的な活動」を、時に余暇における活動として、また、時に教育における手段として展開することを意図することに他ならない。即ち、当たり前のことを当たり前のようにすることであり、そのこと自体が、例えば、災害時 (非常時) にあっても、でき得る限り日常生活 (当たり前の生活) へと「創意と工夫」とによって少しでも改善」できるよう野外で得た知識や技能を役立てることにつながっていく。

野外活動の本来の役割は、野外での活動を通して“自然に遊び”“自然に学ぶ”ことである。その意味は、Natureのもとで、Naturalに遊ぶことと理解してよいし、そこから多くの事柄を学び得るのである。そのことを役割の基本としながら、現代社会が抱える多くの課題に対し、野外活動の視点からその解決を図ろうとするときに、野外活動が果たし得る多くの新しい役割が見えてくる。

◆これまでの野外活動とこれからの野外活動◆

これまでの野外活動では、少なからず家庭での日常生活において、野外で使用する用具や道具の使い方にしても使用にしても、それなりの体験・経験を既に有していた (この現象は、日常の技術や知識・技能の野外生活・活動への持ち出しであることから、「輸出型野外活動形態」と呼んでよい)。しかし現代社会において家庭環境や社会環境、加えて自然環境の変化は、我々にそれらの体験や経験を遠くに押しやってきてしまい、つぶさに実体験を持つことも難しくなっている。例えば、焚火にしても家庭内の料理であっても、オーブンファイア (自然に燃える火としての直火) による様々な体験が皆無となってきた。マッチを擦ることさえ珍しい時代背景となっている。鉛筆を削ることや、ナイフを使いこなすこと、鉋 (なた) や薪割り、鋏を使う作業、スコップやシャベルを用いて土や砂をいじることも稀である。暗い中での不便さを味わう寝泊りを含めた生活などはなおさら珍しいことであろう。こうした文明による人と自然との乖離は、これからますます人間と自然との間に存在するその壁を一層高いものにしていくに違いない。

これからの野外活動は、こうした時代背景にあって、意識的に野外での様々な活動の中で得た知識・技能を日常生活の中に摂り入れ、活用 (生か) し、実践していく (この現象は、野外で得た技術や知識・技能の日常生活・活動への持ち込みであることから、「輸入型野外活動形態」と呼んでよい) 新しい役割を野外活動が持つのだと考えることも必要である。

◆現代社会が抱えるいくつかの課題に対する野外活動の役割◆

現代社会が抱える次のような課題：

- 1) 余暇利用の課題 (余暇の三機能の有効活用)

- 2) 人間交流の課題 (集団交流形態の促進)
- 3) 自然保護・環境の課題 (文明による人と自然との乖離を埋める活動)
- 4) 健康の課題 (食習慣、睡眠習慣、運動習慣の改善の再考につながる意識改革)

に対しても野外活動が果たす役割は大きい。

例えば、単なる遊び以下でもなければ、仕事でもない、これらの2極の間に存在する余暇の活用は、これからの時代、自己啓発の意味からも欠かせない。この自己啓発の先には社会貢献や社会参加が期待される。当然、地域活動にもつながっていく。そのような余暇活用としての野外活動が計画されてよいであろう。

また、人間関係が希薄であるとか、コミュニケーションがうまく成立しない等、集団での活動が少なくなってきた時代にあって、自然の中での非日常の活動では、人間交流は必需となる。世代を超え、多世代での交流も野外活動では可能であり、家族の絆や、家庭での躾、モラルや公德心 (Sense of Public Duty) を養う絶好の機会でもある。

文明は、我々の生活を豊かにしてきたことは確かであるが、反面、多くの場面で人間本来の働きを喪失もさせてきた。その結果として、人は自然との密接な生活をしているにもかかわらず、季節の中間化、夜間の昼間化による環境変化も進み、ややもすると季節感さえ失う生活を余儀なくされてきた。自然保護・環境保護にはまず自然と身近に接することが事の始まりでもある。

加えて、生活習慣の変容も著しく、食習慣 (栄養) に限らず、睡眠習慣 (休養) や、活動習慣 (運動) も大きく変わってきている。野外活動を通して、自然の中で、日の落ちる時間を意識し、野外での食を確認し、運動量が増えることが当たり前の野外活動には、人を健康にする原点がある。

野外活動を「余暇活動」として実践するにせよ、また、野外で人を教育し野外そのものを教育する二面性を持つ「野外教育 (教育活動)」として野外での諸活動を手段的に活用するにせよ、自然公物の利用は、原則、「自由使用」であるが、そこにはしっかり“自己責任”であることの側面も十分理解しておく必要がある。このことも人を安全に守り、豊かに自然を守るための大切な野外活動の役割といえる。

如上のことから野外活動の実践にあたり、自然の中で野外そのものの活動 [自然活動技術を活用する直接自然活動] と、自然の中で人間が生活する諸活動 [生活活動技術を使用する間接自然活動] により、生活と心に豊かさや潤いを誘う野外活動の機能的展開ができていようであろうか……と、「今、改めて“野外活動の役割の機能化”を問う！」のである。

Contents

今、改めて“野外活動の役割の機能化”を問う！

～野外での「余暇活動から教育活動まで」を俯瞰して～ … 1

神奈川県キャンプ協会 (PACK) 平成26年度総会 … 2

平成25年度 事業報告 … 2

平成25年度 収支報告書 … 2

平成26年度 活動方針 … 3

平成26年度 事業計画 … 3

平成26年度 予算 … 3

平成26年度 総会議事録 … 4

NCAJキャンプディレクター2級養成講習会要項 … 4

キャンプディレクター2級養成講習会受講申込書 … 5

平成26年度・アウトドア活動・

マリン&ファミリースポーツフェア2014 … 6

キャンプインストラクター資格認定講習会 … 8

神奈川県キャンプ協会(PACK) 平成26年度 総会

日 時：平成26年4月18日(金)18:00～19:30

場 所：横浜市社会福祉センター 8 階会議室

総会次第

- 第1号議案 平成25年度事業報告
- 第2号議案 平成25年度決算報告
監査報告
- 第3号議案 平成26年度事業計画(案)
- 第4号議案 平成26年度予算(案)

平成25年度 神奈川県キャンプ協会 事業報告

◎主催事業・総会・理事会

4月

- ・アウトドア活動&マリンスポーツ普及実行委員会(辻堂)(4/3)
- ・理事会(第1回:4/17)総会議案・マリンフェアーについて

5月

- ・理事会(第2回:5/16)総会議案について
- ・平成25年度総会(5/16)横浜市福祉総合会館 8階会議室
- ・NCAJ平成25年度第1回総会出席(5/25)
- ・NCAJ平成25年度第1回都道府県キャンプ協会指導者研修会へ3名(東京都)(5/25～26)
- ・NCAJ平成25年度第1回関東ブロック会議へ3名(東京都)(5/26)
- ・アウトドア活動&マリンスポーツ普及実行委員会
構成団体の役割・日程(案)について(5/30)

6月

- ・理事会(第3回:6/19)マリンフェアー・広報誌について
- ・アウトドア活動&マリンスポーツ普及実行委員会事務局
会安全管理について(6/30)

7月

- ・アウトドア活動&マリンスポーツフェアー 2013開催(7/7)
会場参加者:500名
藤沢市教育委員会(後援):県立辻堂海浜公園(協賛)構成団体・参加グループ:17
- ・理事会(第4回:7/17)NCAJ関東ブロック会議・NCAJ CI養成講座について

8月

- ・防災デイキャンプ(講師派遣依頼)会合3名(8/7)
★ニュースNo.9(8/25)

9月

- ・防災デイキャンプ会合3名 プログラム・安全管理・役割分担について(9/5)
- ・理事会(第5回:9/18)D2・CI養成講座・PACKの集い・稚魚の放流について

10月

- ・理事会(第6回:10/16)補正予算・CI養成講座・NCAJ関東ブロック会議について

平成25年度収支報告書

一般会計

平成25年4月1日～平成26年3月31日

(単位:円)

科 目	25年予算額	補 正	決定額	差 異	備 考
【収入の部】					
年 会 費 (継 続)	1,000,000				
(新 規)	200,000	1,300,000	1,252,000	52,000	
登 録 料	100,000				
事 業 収 入	770,000	770,000	719,000	51,000	養成講座;360,000(24名) 登録料;345,000(23名)その他;14,000
雑 収 入 1	30,000	30,000	5,760	24,240	交通費補助
雑 収 入 2	1,000	1,000	488	512	利子
特別会計より繰入金収入	0	0	0	0	
当 期 収 入 合 計 (A)	2,101,000	2,101,000	1,977,248	123,752	
前 期 繰 越 収 支 差 額	602,206	602,206	602,206	0	
収 入 合 計 (B)	2,703,206	2,703,206	2,579,454	123,752	
【支出の部】					
運 営 費					
事 務 局 賃 金	120,000	120,000	120,000	0	
事 務 局 経 費	240,000	240,000	240,000	0	
事 務 局 運 営 経 費	60,000	60,000	37,286	22,714	
委 員 会 運 営 経 費	50,000	50,000	0	50,000	
会 議 費	100,000	70,000	54,270	15,730	総会・理事会
全 国 大 会 派 遣 補 助 費	0	0	0	0	
NCAJ関連事業派遣・参加費	50,000	50,000	76,980	▲26,980	NCAJ総会・事務局担当会議
交 通 費	10,000	10,000	2,710	7,290	
需 用 費	50,000	50,000	78,775	▲28,775	
役 務 費	250,000	200,000	127,167	72,833	
使 用 料 及 び 賃 借 料	130,000	130,000	134,850	▲4,850	総会・理事会
N C A J 負 担 金	110,000	110,000	309,000	▲199,000	登録料(299,000)、団体(10,000)
事 業 費					
総 務 費	30,000	30,000	29,400	600	総会案内
広 報 費	400,000	400,000	361,200	38,800	3回
事 業 費	350,000	200,000	204,857	▲4,857	PACKの集い(I)・(II);0 マリン;168,857、その他;36,000
人 材 養 成 育 成 事 業 費	500,000	500,000	482,357	17,643	養成講座修了24名
予 備 費	50,000	0	0	0	
特別会計へ繰入金支出(積立金)	200,000	200,000	200,000	0	25年度分(横浜銀行へ)
当 期 支 出 合 計 (C)	2,700,000	2,420,000	2,458,852	▲38,852	
当 期 収 支 差 額 (A)-(C)	▲599,000	▲319,000	▲481,604	162,604	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (B)-(C)	3,206	283,206	120,602	162,604	

- ・防災デイキャンプ「3Qキャンプ作戦」開催 平塚市(10/19)
参加者:130名

11月

- ・NCAJ CI養成講座開催地事前会議5名(愛川町)(11/6)
- ・NCAJ平成25年度第2回関東ブロック会議3名(千葉県)(11/10)
- ・理事会(第7回:11/20)会報誌NO.10・PACKの集い・CI養成講座について
- ・神奈川県キャンプ協会(PACK)のつどい(I)(11/22～11/24)
キャンプインストラクター養成講座(会場:県立愛川ふれあいの村)受講24名(登録23名)
- ・キャンプディレクター2級養成講座 最少催行未済で中止
兼 BU&C事業(2級ディレクター受講資格のプログラム)
参加者:5名

12月

- ・理事会(第8回:12/18)25年度事業・予算の執行、26年度計画について

1月

- ・平成26年度辻堂海浜公園の利用団体者会議(藤沢市)(1/20)
平成26年度「アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツ」の実施に向けて
- 26年度事業計画、6利用団体との情報交換について

2月

- ・青少年交流事業「稚魚の放流」(湘南海岸)天候不良のため中止
★ニュースNo.10.(2/25)
26年度総会案内、アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツフェア2014

3月

- ・神奈川県キャンプ協会(PACK)の集い(II)(3/14)(横浜市西区)
- ・理事会(第9回:3/14)26年度事業計画・予算について
- ・NCAJ平成25年度第2回総会出席(東京)(3/22)
- ・平成25年度第2回都道府県キャンプ協会指導者研修会3名(東京都)(3/22～23)

◎共催事業

- ・平成25年度アウトドアリーダー養成講座(年間)(主催:公益財団法人横浜市体育協会)

◎協力事業

- ・秋のレクリエーションフェスティバル2013(主催:横浜市レクリエーション連合)

◎BU&C事業

- ・キャンプインストラクター養成講座に併設(会場:県立愛川ふれあいの村)5名(再掲)

◎その他の派遣

- ・平成26年度横浜市社会福祉センター利用者団体交流会(横浜市)(1/27)

平成26年度 神奈川県キャンプ協会 活動方針

神奈川県キャンプ協会は公益社団法人日本キャンプ協会が提起する以下の4事業基本方針を遵守し、その活動を推進する。

1. キャンプを通じた社会貢献の可能性を広げる「学び」
2. キャンプムーブメントを広げる「繋がり」
3. キャンプを通じた社会貢献の実践と普及の取り組み
4. 「人の力」を結集した協会運営の強化

前文を踏まえた、神奈川県キャンプ協会の事業活動方針は

1. 野外活動全般に亘り、市民・会員に対する活動の普及・支援を行う。さらに、災害や緊急時での地域社会の安全づくりに貢献する。
 - ・市民参加の事業
 - ・会員への自主研修会の実施
 - ・地域社会の安全支援
2. 野外活動指導者の養成・育成をはかる
 - ・キャンプインストラクターの養成事業
 - ・BU&C事業の実施
 - ・2級ディレクターの養成事業
3. NCAJ関東ブロック会議への協力と共同活動の実践をはかる
4. 野外活動における関係諸団体との新しい関係づくりを推進する
5. 行政機関などとのパイプづくりを推進する
6. 会員への情報提供を行う

平成26年度 神奈川県キャンプ協会 事業計画

◎主催事業・総会・理事会

4月

- ・アウトドア活動 マリン&ファミリースポーツ普及実行委員会(横浜市)(4/11)
- ・理事会(第1回:4/18) 横浜市福祉総合会館 8階会議室
- ・平成26年度総会(4/18) 横浜市福祉総合会館 8階会議室
- ・アウトドア活動 マリン&ファミリースポーツフェア開催(藤沢市)(4/27)
- 藤沢市教育委員会(後援):県立辻堂海浜公園(協力)

5月

- ・理事会(第2回:5/30)
- ・NCAJ平成26年度第1回総会出席(5/24)
- ・NCAJ平成26年度第1回都道府県キャンプ協会指導者研修会(東京都)(5/25)
- ・NCAJ平成25年度第1回関東ブロック会議(東京都)(5/25)
- ・野外活動リーダー養成講習会 3回(5/12・15・19)

6月

- ・理事会(第3回:6/1)

7月

平成26年度 予算

一般会計

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(単位:円)

科 目	26年予算額	26年決定額	差 異	備 考
【収入の部】				
年 会 費 (継 続)	1,000,000	1,252,000	48,000	@2000×500名
(新 規)	200,000			100名×2,000
登 録 料	100,000			100名×1,000
事 業 収 入	700,000	719,000	△19,000	養成講座 ci:300,000(10名) 2級360,000(10名)
雑 収 入 (1)	5,000	5,760	△760	BUC; 20,000=@1,000×20 その他; 20,000
雑 収 入 (2)	500	488	12	NCAJ会議の交通費補助
特別会計より繰入金収入	0	0	0	利子
当期収入合計(A)	2,005,500	1,977,248	28,252	
前期繰越収支差額	120,602	602,206	△481,604	
収入合計(B)	2,126,102	2,579,454	△453,352	
【支出の部】				
運 営 費				
事 務 局 賃 金	120,000	120,000	0	
事 務 局 経 費	240,000	240,000	0	
事 務 局 運 営 経 費	60,000	37,286	22,714	
委 員 会 運 営 費	20,000	0	20,000	
会 議 費	60,000	54,270	5,730	総会・理事会
全 国 大 会 派 遣 補 助 費	0	0	0	
NCAJ関連事業派遣・参加費	50,000	76,980	△26,980	NCAJ総会・事務局担当研修
交 通 費	10,000	2,710	7,290	
需 用 費	100,000	78,775	21,225	
役 務 費	150,000	127,167	22,833	
使 用 料 及 び 賃 借 料	130,000	134,850	△4,850	総会・理事会、レンタル倉庫
N C A J 負 担 金	160,000	309,000	△159,000	登録料(150,000)、団体(10,000)
事 業 費				
総 務 費	30,000	29,400	600	
広 報 費	400,000	361,200	38,800	3回
事 業 費	300,000	204,857	95,143	PACKの集い(Ⅰ)・(Ⅱ)ほか; 50,000
人 材 養 成 育 成 事 業 費	300,000	442,357	△142,357	マリン; 200,000、その他; 50,000
備 費	46,102	0	46,102	養成講座200,000、その他; 100,000
特別会計へ繰入金支出(積立金)	200,000	200,000	0	26年度
当期支出合計(C)	2,126,102	2,458,852	△332,750	
当期収支差額(A)-(C)	0	△481,604	481,604	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	120,602	△120,602	

- ・理事会(第4回:7月下旬)

★ニュースNo.11(7月下旬)

8月

9月

- ・理事会(第5回:9月下旬)
- ・NCAJ平成26年度 関東ブロック会議(山梨県)(9月下旬)

10月

- ・理事会(第6回:10月中旬)

11月

- ・理事会(第7回:11月初旬)
- ・神奈川県キャンプ協会(PACK)のつどい(Ⅰ)(11/22)
- ・NCAJキャンプインストラクター養成講座(会場:県立愛川ふれあいの村)
- NCAJキャンプディレクター2級養成講座(同上)
- 兼 BU&C事業(2級ディレクター受講資格のプログラム)

12月

★ニュースNo.12.(12月下旬)

1月

- ・理事会(第8回:1月下旬)

2月

3月

- ・神奈川県キャンプ協会(PACK)のつどい(Ⅱ)(3/14)(会場未定)
- ・理事会(第9回:3月中旬)
- ・NCAJ平成26年度第2回総会出席(3/14)
- ・平成26年度第2回都道府県キャンプ協会指導者研修会(東京都)(3/15)
- ・NCAJ平成26年度第2回関東ブロック会議(東京都)(3/15)
- ・アウトドア活動&マリンスポーツ普及実行委員会への参画(平成27年度の実施に向けて)

★ニュースNo.13(3月下旬)

◎共催事業

- ・市民防災への理解(藤沢市)

◎協力事業

- ・2014秋のレクフェスタ(主催:公益財団法人横浜市体育協会)(横浜市)(10/中旬)
- ・福祉事業と野外活動

◎BU&C事業

主催事業・共催事業・協力事業に対して、BU&C事業への展開(詳細は各事業の案内による)

◎その他の派遣

- ・サマーキャンプ 指導者派遣(平塚市)(8月)
 - ・防災キャンプ「3Q防災作戦」 指導者派遣(平塚市)(10月)
- 以上

平成26年度 神奈川県キャンプ協会 総会議事録

1. 日時 平成26年4月18日（金）18:00～19:00
2. 場所 横浜市社会福祉センター 8階会議室
3. 議決数 94名（委任状含む）
4. 議事の経過

定刻を10分過ぎ、司会者藤野和子理事が開会を宣言
小林新治朗会長が、開会の挨拶
理事長鈴木秀雄が、議決総数94名であることを報告
司会者は当会規約第14条に則り、総会議長として会長を指名
議事録署名人に二氏（高橋良寿・金原康弘）を選出

第1号議案
平成25年度神奈川県キャンプ協会事業報告
副会長高野新平より事業報告がなされ、賛成多数により承認

第2号議案
平成25年度神奈川県キャンプ協会決算報告
副会長高野新平より決算報告がなされ、監事報告 監事（榎本・杉浦）による監査報告がなされた後、
原案は、異議なく賛成多数により承認

第3号議案
平成26年度神奈川県キャンプ協会事業計画（案）
副会長高野新平より事業計画が提案され、賛成多数にて承認

第4号議案
平成26年度神奈川県キャンプ協会予算（案）
副会長高野新平より予算が提案がされ、
鈴木秀雄理事長より、毎年積み立てている20万円は各都道府県の協会においても会員数が減少していることを踏ま

え、現状のままとする提案があり、異論なく賛成多数にて承認

報告事項

副会長高野新平より、4月27日開催予定の「アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツフェア」への協力依頼と共に各スタッフの役割分担の確認がなされた。

その他

理事より「会員を対象とする研修会等の開催をしたらどうか」との提案があった。
議長はすべての議題が終了したことを告げ、議長職を辞し、司会は総会の閉会を宣した。

以上の記録に相違ないことを認め、議長、議事録署名人が署名・捺印する。

平成26年 4月18日

議長	住所	鎌倉市腰越1-15-1
	氏名	小林 新治朗
議事録署名人	住所	横浜緑区
	氏名	高 橋 良 寿
議事録署名人	住所	横浜市中区
	氏名	金 原 康 弘

公益社団法人日本キャンプ協会公認

※NCAJキャンプディレクター2級養成講習会(神奈川県)要項※

1. 期 日 2014年11月22日(土)～24日(月祝) 2泊3日
※全日程の参加が必要です。
初 日：11月22日(土) 12時30分集合
最終日：11月24日(月・祝) 15時終了予定
2. 会 場 神奈川県立愛川ふれあいの村
電話：046(281)1611
3. 主 催 神奈川県キャンプ協会 (PACK)
4. 公 認 公益社団法人日本キャンプ協会 (NCAJ)
5. 講 師 神奈川県キャンプ協会 NCAJキャンプディレクター1級(D1)指導者
6. 対 象 20歳以上で、以下の要件を満たしている方
【キャンプインストラクター資格をお持ちの方】
受講要件：①キャンプインストラクター資格取得後、現在NCAJの会員登録をしていること
②アウトドア活動参加経験2回以上と、1泊以上のキャンプ指導経験1回以上
③キャンプインストラクター資格取得後、BUC事業に1回以上参加していること
7. 定 員 20人（最少催行人数10人）
※最少催行人数に満たないときは中止になる場合があります。
8. 受講料 35,000円
※宿泊費、食費、教材費、保険料、テキスト代、消費税等を含む。
※受講申し込み後のキャンセルの場合には、既定のキャンセル料を申し受けます。
※テキストをお持ちの方には、テキスト代2,000円を返金いたします。
※修了試験合格後、D2資格登録には別途費用が必要です(右記参照)。

9. 内 容

【集合実講習】 20時間

キャンプと社会、対象の理解、キャンプの指導者と指導技術、キャンプと安全管理、キャンプの企画・運営・評価、キャンプマネジメント

【レポート課題】 40時間（日本キャンプ協会が提供する教材で行う内容には全ての科目が含まれている。）

※「レポート課題」は講習会前に送付いたします。
解答を済ませて講習会に持参してください。

【修了試験】

10. 持 ち 物 テキスト、着替え、防寒着、雨具、軍手、洗面用具、懐中電灯、健康保険証、筆記用具、室内履き、マイカップ・箸・スプーン、水筒、その他必要と思われる物
※詳細は申込後にご案内します。
11. 申込方法 FAX、郵送またはメールで必要事項を記入の上、下記にお申し込みください。
12. 申込締切 2014年11月2日(日) 【必着】
13. 申込書請求、お問合せ先

神奈川県キャンプ協会 人材養成育成委員会
〒232-0022 神奈川県横浜市南区高根町 2-12-7-607
TEL/FAX：045-253-4545
E-mail：kanagawa@camping.or.jp

○お気軽にお問合せください！ 皆様の参加をお待ち申し上げます。

【資格登録申請とその費用について】

- ★レポート課題と講習会全日程を受講、最終日に実施する修了試験に合格し、所定の手続きを完了すると、公益社団法人日本キャンプ協会 (NCAJ) 公認キャンプディレクター2級資格を取得することができます。
- ★資格登録には、別途10,000円（受験料、公認料、登録料）が必要になります。

キャンプディレクター 2 級養成講習会受講申込書

フリガナ 氏 名	性別	男 ・ 女	指導者資格番号（会員番号） I -
	年齢	歳	
住 所 〒 -			
TEL :			
Email :			
講習会テキスト『キャンプディレクター必携』（第3版）の有無 どちらか一方を○で囲む （有 ・ 無）			
●BUCの参加実績について あなたが参加したBUCについて、お書きください。（1回以上の参加が必要です。） ①主催協会名 _____ 事業名 _____ 受講年 _____ 年 ②主催協会名 _____ 事業名 _____ 受講年 _____ 年			
●アウトドア活動経験、指導経験について （受講にはアウトドア活動参加経験2回以上と1泊以上のキャンプ指導経験1回以上が必要です。どの団体の経験でも構いません。書ききれない場合は別紙に記載されても結構です。） 【アウトドア活動参加経験】 ①活動名 _____ 参加年月 _____ 年 _____ 月 参加 ②活動名 _____ 参加年月 _____ 年 _____ 月 参加 【指導経験】 ①主催団体名 _____ 事業名 _____ 実施年月 _____ 年 _____ 月 _____ 泊 ②主催団体名 _____ 事業名 _____ 実施年月 _____ 年 _____ 月 _____ 泊 ③主催団体名 _____ 事業名 _____ 実施年月 _____ 年 _____ 月 _____ 泊			

F A X : 0 4 5 - 2 5 3 - 4 5 4 5 神奈川県キャンプ協会（PACK）

お申込み ⇒ 開催2週間前を目途に受講案内とテキストをお送りします ⇒ お振込みをお願いします。
⇒ 当日会場までお越しください ⇒ 受講終了・修了証授与

＊平成26年度・アウトドア活動・ マリン&ファミリースポーツフェア2014＊

(1) 趣 旨

本県の豊かな自然を生かし、アウトドアスポーツの普及を目的として、子どもを対象に、親子や家族で参加し、障がい者や高齢者も楽しむことができるアウトドア活動やマリンスポーツ並びにファミリースポーツの体験事業を開催した。

(2) 開催日：平成26年4月27日(日) 10:30～15:00

(3) 開催場所：神奈川県立辻堂海浜公園・辻堂海岸

(4) 主催 アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツ普及実行委員会
(事務局：NPO法人神奈川県野外活動協会)



【地曳網体験】

(5) 実施団体 神奈川県教育委員会教育局生涯学習部スポーツ課
神奈川県教育委員会教育局教育指導部保健体育課
藤沢市危機管理室・神奈川県キャンプ協会・NPO法人神奈川県野外活動協会・神奈川県こども会連絡協議会・日本赤十字社神奈川県支部・NPO法人神奈川県ライフセービング連盟・NPO法人ライフサポート機構・藤沢市フリンゴ協会・五感教育研究所・神奈川県立体育センター・ボーイスカウト神奈川連盟湘南地区協議会・(社)かながわデザイン機構

(6) 後援 藤沢市教育委員会

(7) 協力 (公財)神奈川県公園協会 辻堂海浜公園管理事務所



【メリケントキソウ駆除作戦】

(8) 実施内容

ア・大会・体験

実施内容	対象	定員	参加者	実施団体
小学生ビーチフラッグス大会	小学生	50	35人	NPO法人 神奈川県ライフセービング連盟
地曳網体験 辻堂の海にはどんな魚がいる？	どなたでも可	120	118人	NPO法人神奈川県野外活動協会

イ・体験コーナー

実施内容	対象	定員	参加者	実施団体
防災を考える ～起震車による地震体験・消火訓練～	どなたでも可	なし	119人	藤沢市危機管理室
減災を考える ～我が家の防災グッズを確認しよう～	どなたでも可	なし	4人	NPO法人神奈川県野外活動協会
アウトドアアクティビティー体験A ～ストーンペインティング ・松ぼっくりの宝物づくり～	子ども・親子等	なし	110人	NPO法人神奈川県野外活動協会
アウトドアアクティビティー体験B ～ロープワークを楽しもう ・海辺の手作り凧揚げ～	子ども・親子等	なし	49人	神奈川県キャンプ協会

実 施 内 容	対 象	定 員	参加者	実 施 団 体
アウトドアアクティビティー体験C ～ぶんぶんゴマづくりに挑戦しよう～	どなたでも可	なし	51人	五感教育研究所
アウトドアアクティビティー体験D ～野外ゲームを楽しもう～	どなたでも可	なし	81人	日本ボーイスカウト神奈川連盟 湘南地区協議会
アウトドアアクティビティー体験E ～3033運動キャンペーン～	どなたでも可	なし	113人	神奈川県立体育センター
アウトドアアクティビティー体験E ～ウォーキング教室～	どなたでも可	なし	32人	NPO法人ライフサポート機構
ユニバーサルカヌー体験	障がい者、高齢者 を含む どなたでも可	100	105人	(社) かながわデザイン機構
クリーン大作戦 ～ゴミ拾いで絆を広げよう～	どなたでも可	なし	118人	NPO法人神奈川県野外活動協会
メリケントキシウ(南米原産・帰化植物)駆除作戦 ～公園の芝生の上を安全に～	どなたでも可	なし	158人	神奈川県キャンプ協会

(9) 体験者数（子ども）

アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツフェア2014
935人

(10) 参加者数（こども、保護者、一般者）

アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツフェア2014
2,284人

(11) まとめ

ゴールデンウィーク入りの日曜日、好天に恵まれ、富士山を望む辻堂海浜公園で沢山の親子連れの参加を得て、大変活気に満ちたフェアを開催することが出来ました。

各実施団体の工夫を凝らしたプログラムに果敢に挑戦する子供たちの姿に、保護者の皆様は大変目を見張っておられました。ご自分のお子さんの普段見られない側面を発見されたのではないのでしょうか。

昨年は荒波のために中止となった地曳網体験、今年は海の状況も良く大漁（魚、シラス）で参加された方々は取り立てのシラス（生・釜揚げ）を食べ放題、沢山の魚をお土産に持ち大変満足の様子でした。

皆様のご協力のお蔭をもちましてけが人、病人も出ず無事に終了することが出来ました。

ご後援をいただきました藤沢市教育委員会、ご協力ご支援をいただきました（公財）神奈川県公園協会・辻堂海浜公園管理事務所の皆様方に感謝申し上げます。

有難うございました。

アウトドア活動・マリン&ファミリースポーツフェア実行委員会
事務局長 高野新平
〔神奈川県キャンプ協会（PACK）副会長〕



【ユニバーサルカヌー体験】

＊キャンプインストラクター資格認定講習会＊

これであなたもキャンプの仲間！
資格のためだけでなく、自然の中で自然を楽しめる生活を

- ☆日 程 2014年11月22日(土)～24日(祝) [2泊3日]
初日 12:30集合 最終日14:30終了(予定)
- ☆会 場 神奈川県立愛川ふれあいの村
電話 046(281)1611
ホームページ <http://fureai-aikawa.com/>
- ☆交 通 ・小田急線本厚木駅北口下車、バス利用(60分)
・東名高速道路厚木インターより
国道246号へ
- ☆対 象 野外活動に興味があり、神奈川県在住の18歳以上の方(高校生を除く)
20名程度(先着順)
- ☆内 容 野外活動の基礎から歴史、野外活動の安全に関すること、キャンプインストラクター



- ☆受 講 料 18,000円(テキスト代・プログラム活動費・2泊6食の費用・傷害保険料等含)
- ☆申込方法 参加申込書に必要事項を記入の上、下記事務局宛にFAX、郵送またはMail(kanagawa@camping.or.jp)にて。
- ☆申込締切 2014年11月2日(日) [必着]
- ☆申込書請求、お問合せ先 神奈川県キャンプ協会 人材養成育成委員会
〒232-0022 神奈川県横浜市南区高根町2-12-7-607
TEL/FAX: 045-253-4545
E-mail: kanagawa@camping.or.jp
お気軽にお問合せください！
皆様のご参加をお待ち申し上げております。
- ☆後 援 公益社団法人日本キャンプ協会
(公社)日本キャンプ協会のキャンプインストラクター資格取得希望の方は、講習会全日程(第1日目～第3日目)修了後手続きを行います。別途15,000円(検定料、登録料、会費)が必要です。

送付先FAX番号 045-253-4545 E-mail kanagawa@camping.or.jp

(2014) キャンプインストラクター資格認定講習会受講申込書 申込年月日: 2014年 月 日
※個人情報の取り扱いは当協会のプライバシーポリシーに基づいた管理を行い、この養成事業関連にのみ利用します。

フリガナ氏名	性 別	男 ・ 女
生年月日	年 齢	歳
住 所	野外活動等活動歴	概 年
連絡方法	自宅電話	
	携帯電話	
	メー ル	
	携帯メール	
本協会の活動や行事について、上記の連絡先に広報等を行うことを承諾しますか。承諾されない場合は、横の「否」に○をしてください。		否
この講習会で記録として映像資料を作成します。またそれを本協会の広報などに使用する予定です。あなたが識別できる映像を広報目的等を使用することを承諾されない場合は、横の「否」に○をしてください。		否
(公社) 日本キャンプ協会インストラクター資格取得希望		有 ・ 無
未成年者の申込の場合は、参加に保護者の同意が必要です。同意の自署捺印をお願いします。 上記申込人の申込内容を確認し、講習会参加に同意します。		
保護者氏名		印
連絡事項等ありましたらお書きください。		

編集後記【ニュースNo. 11】
地方自治法の一部改正(第244条の2第3項等;平成15年9月2日施行)により、公の施設の管理について、指定管理者制度が導入され、現在、県内の多くの野外活動関連施設も指定管理がなされている。その制度の本来の趣旨は、経費(予算)の削減がその第一義ではなく、むしろそれに優る利用者サービスの向上が謳われているはずである。
制度の概要は、最終権限は管理者に付与されておらず、管理を指定された法人に委ねる行為である。利点としては、使用許可の権限行為が付与され、質の高いサービスと経費削減の可能性を持つものであるが、管理指定時に業務の範囲、仕様等を詳細に協定しなければならず、弾力的な運営ができにくくなっている欠点をも有している。このニュース(No. 11)の冒頭(巻頭言)でも関連した内容を記したが、野外活動施設の役割の機能化が図れているのか、行政側も、指定管理者側も、ここでもう一度初心に帰り、サービスの向上と経費の削減とのバランスがどうとれているのかを再考(検証)して欲しいものである。
【PACK理事長 鈴木秀雄】

神奈川県キャンプ協会(PACK)
Prefectural Association of Camping, Kanagawa
NEWS No.11 July 15, 2014
from : North East West South
発行日 平成26年7月15日
発行 神奈川県キャンプ協会(PACK)
〒232-0022 横浜市南区高根町2-12-7
公園通り式番館6階
TEL・FAX 045-253-4545
発行人 会長 小林新治朗
編集責任者 理事長 鈴木 秀雄